

## 令和元年度 第4回 富里市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時 令和2年1月29日(水) 10時00分～10時56分
2. 場 所 本庁舎3階第3会議室
3. 出席者 内山雅広委員、斎藤まり子委員、白岩智子委員、藤崎輝代委員、湯浅正江委員、小川晃司委員、宮川朱実委員、吉田幾久子委員、大澤昌宏委員、新村浩章委員、小沼綾子委員、横山智志江委員、山田良江委員  
(欠席者) 大木みわ委員、内藤節子委員
4. 傍聴人 0名
5. 議 題
  - (1) 会長及び副会長選任について
  - (2) 富里市子ども・子育て会議について
  - (3) 第2期富里市子ども・子育て支援事業計画について

### 6. 会議の経過

事務局：本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。只今より、富里市子ども子育て会議を開催いたします。会議に先立ちまして委嘱状交付式をとりおこないます。

委嘱状につきましては、代表で内山雅広様に交付させていただきたいと思っております。

#### 【委嘱状交付】

ありがとうございました。なお、他の委員の皆様には、お手元に委嘱状を配布させていただいておりますので、ご了承ください。また、委嘱期間につきましては、今回の委員の皆様は委嘱期間である令和元年11月15日からの2年間となっております。会議開催日の都合により交付が遅れました事、お詫び申し上げます。

事務局：それでは改めまして、令和元年度第4回富里市子ども・子育て会議を開催いたします。

まず始めに、副市長石橋規より挨拶を申し上げます。石橋副市長よろしくお願いたします。

副市長：皆様こんにちは、副市長の石橋でございます。会議に先立ち、一言ご挨拶を申し上げます。本来、五十嵐市長がご挨拶を申し上げるべきところでございますが、公務都合の為、私が変わってご挨拶をさせていただきます。

本日、会議を開催いたしましたところ、皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、先般は本会議の委員のご就任をお願いいたしましたところ、快くお引

き受けいただきましたこと、厚く御礼を申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、現在、子どもを取り巻く環境、特に就学前の子どもたちの環境は大きく変わってきております。幼児教育・保育の無償化や、待機児童の解消という問題が全国的にも大きく取り上げられております。本市においてもこうした問題に対応するため、本会議の委員の皆様には御意見を伺いながら、子ども・子育て支援事業計画の見直しやこども園等の整備を進めてまいりました。

さらなる子育て支援施策の推進にあたりまして、この会議の審議が大変重要となりますので、委員の皆様方には、忌憚のない御意見を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びとなりますが、委員の皆様方の本日の会議のご出席に重ねて御礼を申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

事務局：ありがとうございます。副市長は、この後公務がございますので、只今をもちまして退席とさせていただきます。

続きまして、委員の皆様方のご紹介でございますが、名簿をお配りさせていただいておりますので、恐縮でございますが、各委員の皆様から自己紹介の形で御挨拶を頂戴したいと存じます。

#### 【各委員自己紹介】

事務局：事務局の職員を紹介させていただきます。

#### 【職員紹介】

事務局：それでは、これより議題に入らせていただきます。なお、本日内藤委員、大木委員が欠席をされておりますが、富里市子ども・子育て会議条例第6条第2項に規定されておりますとおり、委員の半数以上の出席となりますので、本日の会議が成立しております事をご報告いたします。

本日の議題はお手元の資料でございますとおり3件ございます。

最初に議題(1)会長及び副会長の選任についてでございますが、会長が決まりますまでの間は高橋子育て支援課長が議事の進行を務めさせていただきます。高橋課長よろしくお願いたします。

子育て支援課長：子育て支援課長の高橋と申します。まず議事に入らせていただきます前に、後ほど議題(2)でご説明をさせていただきますが、富里市子ども・子育て会議につきまして簡単にご説明をさせていただきます。

本会議は、子ども・子育て支援法及び富里市子ども子育て会議設置条例に基づき設置され、委員の皆様方から御意見を頂き、富里市の子育て支援施策や

計画などに反映をさせていくことを目的とするものでございます。平成25年にこの会議が設置され委員の任期は2年となります。今回が第4期の委員となります。本日は、新たな委員の皆様による初めての会議でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。議題(1)会長及び副会長の選任についてでございます。まず、会長の選任でございますが、富里市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定によりまして、会長は互選により定めることとされております。会長の選任につきまして、委員の皆様方、いかがいたしましょうか。

委員：事務局一任

子育て支援課長：ただいま事務局一任の発言がございましたが、ご異議はございませんか。

委員：異議なし

子育て支援課長：異議なしということで事務局一任とさせていただきます。

それでは、事務局より案の説明をお願いします。

事務局：事務局といたしましては、民生委員や学童クラブの指導員など富里市の子育て環境にも大変お詳しいこと、また、これまでも子ども子育て会議の副会長を務めていただいていたことから宮川委員にお願いしたいと考えております。

【拍手】

子育て支援課長：それでは、事務局より案の説明がございましたが、宮川委員に子ども子育て会議の会長をお願いしたいと存じます。

あらためて皆様拍手をもって決定したいと思います。

【拍手】

ありがとうございました。それでは会長が決定いたしましたので、私の任はこれで終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局：それでは、宮川会長に議長をお務めいただきたいと存じますので会長におかれましては、お手数ですが、会長席のほうに移動をよろしくお願い致します。それでは、就任に当たりまして、宮川会長からご挨拶を賜りたいと存じます。よろしくお願い致します。

会長：永く子育て会議に関わらせていただいています。その中で民生委員が今年10期目に入りました自分に何ができるか、まずは健康でいることが大切だと思いい健康第一でやっています。富里市の子育て支援は遅れていたのが確かだと思いますが、学童保育、こども園設置など職員の皆さんががんばりとてもありがたいと思っています。子供達が元気で過ごせることが一番、高齢者も大切だが若い親が安心して働きに行けることが大事だと思います。前会議では質の良い保育ということでいろんな御意見をいただきました。新たに委員となられました皆様からも富里の子育てがより良くなるよう忌憚のない御意見

をいただきたいと思います。

それでは早速でございますけれども、次第に従いまして、副会長の選任を行いたいと思います。事務局から選任の方法についてご説明いただきたいと思います。

事務局：富里市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定によりまして、副会長は委員の互選により定めることとされておりますので、よろしくお願いたします。

会長：事務局のご説明によりますと、互選によるということでございます。皆様、いかがでございましょうか。

委員：小沼委員がよろしいかと思ひます。いかがでしょうか。

会長：ただいま小沼委員を推薦する旨のご提案がございましたが皆様いかがでしょうか。

#### 【拍手】

小沼委員よろしくお願いたします。ありがとうございます。それでは、小沼委員に御挨拶を頂きたいと思ひます。

副会長：社会福祉協議会の小沼でございます。私の前職は富里保育園で保育士をしていました。富里保育園で子供2人育ててもらいました。富里に恩返しができると思ひます。どこまでできるかわかりませんがよろしくお願いたします。

会長：ありがとうございます。それでは、次の議題に進みたいと思ひます。議題（2）「子ども・子育て会議について」、事務局から説明をお願いいたします。

#### 【事務局から説明】

会長：「子ども・子育て会議について」事務局から説明がございましたが、ご意見、ご質問はございますか。

特にならなければ、次の議題に進みます。議題（3）「第2期富里市子ども・子育て支援事業計画について」事務局から説明をお願いいたします。

#### 【事務局から説明】

会長：「第2期富里市子ども・子育て支援事業計画について」事務局から説明がございましたが、ご意見、ご質問はございますか。

特にならなければ、以上で本日の議題全てが終了いたしましたので、これにて議事を終了して、事務局にお返しします。

事務局：その他何か皆様からございますでしょうか。

委員：幼児教育の無償化が昨年10月から開始になりました。そのことにより膨大な事務と幼児期の終わりまでにここまで育てほしい10の姿というのが文部科学省から挙げられています。その内容はどれも心の教育に関することで第1期、第2期とも心を育てる教育の充実でした。幼稚園を設置して45年経ち、

その間に子供たちも保護者もたいへん変わってきました。さらに無償化によってお母さま方の就労を奨励し家庭にいる方を1号認定、働いている方、働く意思があり活動している方を2、3号認定とし、これから働く人の割合が増えていくと思われます。そうしたとき子供たちの置かれている環境は心が育つ場所としての家庭と預け先の幼稚園、保育園とさまざまな難しさを抱え憂慮しています。国は無償化で幼児期に投資するということでここまで育ててほしいとっているのだと思います。子供たちの成長を見ていく環境や保育の質が保障されていくのが難しい時代ですが私たちはそれぞれの持ち場でがんばっていくしかないと思います。

幼児期の子供たちが置かれている状況について役割上申し上げさせていただきました。

委員：計画の新事業で61番の長時間労働の改善とワークライフバランスの推進というところが良いところに目を付けたと思いました。早くお父さんが帰ってきて子供たちと関係を持つ、そういうことになれば良いなと思いました。市としてどのような関りを持つかわかりませんが推進してほしいと思います。就職氷河期といわれる40代の皆様の就職の支援を富里市でできれば良いのではと思いました。その世代が富里にどれくらいいるのかわかりませんが、そういう皆様が富里に目を向け来てもらえたら新しい家庭ができたりするかもしれません。そういう活動が全国的にあり、どこかの市役所がその年代を就職させたことが話題になっています。そういう方々を呼ぶような施策があれば少しは少子化対策になるのではと思います。

委員：保育士の立場からですがノーマライゼーションが叫ばれているがなかなか定着していません。障害のあるお子さんが他のお子さんと一緒に関わる場面というのは育つ中でとても大事なことです。そういう場を富里市で増やしてほしい、マザーズホーム、幼稚園、保育園それぞれでということではなくマザーズホームのお子さんの発達や状況によって幼稚園、保育園で健常な子と一緒に過ごす時間をつくってもらえるとノーマライゼーションが進んでいくのではないかと思います。そういうところにも力を入れてほしいと思います。

会長：学童保育に関わらせていただいている。その中で障害のあるお子さんも一緒に参加している。上級生が用便や勉強、遊びにしても面倒を見てくれます。その子は昆虫のことに詳しくみんなが知らないことを知っています。お互いに学び合い助け合うことでやさしさが生まれてきている。支援員にとっては専門的に勉強しているわけではないので見守っていくしかありません。子供たちがお互いに思いやりが出てきてとても良い環境が生まれてきていると思います。支援員も勉強していかなければなりません。

事務局：いろいろな御意見ありがとうございます。4月から第2期富里市子ども・子育て

て支援事業を進めていくこととなりますので、後日でも気づいた点、御意見あれば直接子育て支援課へ連絡ください。

今後の計画策定のスケジュールについてですが 2 月にパブリックコメントを実施し、その中で市民のみなさまの御意見を聞きながら 3 月に計画決定をさせていただきます。

そして 4 月よりこの事業を開始させていただく予定となっておりますのでよろしくお願いいたします。

その他、皆様からありますか。以上をもちまして、令和元年度第 4 回富里市子ども・子育て会議を終了とさせていただきます。なお、次回の会議は日程が決まり次第、あらためてご案内させていただきますのでよろしくお願い致します。長時間に渡りお疲れさまでございました。